

# No. 1283

## 猛暑続く

キラキラと照りつける夏の太陽。日本列島は連日厳しい暑さに見舞われ、各地で「真夏日」が続いています。昼さがりの都会は人影もまばら。道行く人もふき出す汗をぬぐいながら足早やに通り過ぎていきます。動物園の動物たちもこの暑さには閉口した様子、特に北極生れの白熊さんは備えつけのプールにつかりきり。じっとしているのが一番とちやっかりシャワーをきめこむのはペンギンさん。この暑さは太平洋高気圧の勢力が異常に強く、日本付近に熱流を送り込んでいるのが原因と見られています。ビアガーデンは暑さを飲みほそうとするサラリーマンでいっぱい。猛暑は当分続く見込み、まだ秋は遠いようです。

## 島の夏

— 東京・新島 —

紺碧の海、白い砂浜。東洋のイースター島、新島。島は今、夏の観光シーズン真盛り、タンクトップにショートパンツ、サーフィンボードをかかえた若者たちの波がドッと押し寄せています。新島はその昔流人の島であった。島の中心本村部落の長栄寺には流罪中の病没者を葬った流人墓地があります。苔むした墓石の列が遠い昔をしのばせます。巨大なモヤイ像には流人の顔やそれを慰めた優しい島の娘さんの顔が彫られているといひます。今、時が流れ夏ともなると島は若者たちであふれ、若島の島となる。白々断層の続く羽伏浦海岸は南国ハワイを思わせる華やかさだ。波に遊ぶ若者たちは時の過ぎるのを忘れるほど。天然の良港、渡浮根港、ここは島の漁業基地である。島の特産物と云えば何んといってもくさや古い塩水に漬けられた魚の風味はまた格別。くさやは夏から秋にかけてが最盛期、一家総出でかかりきりとなる。乾燥機の出現で表に一面に干すという浜辺の風情は見られなくなりました。島の南端に防衛庁新島練習場があります。新島では当時練習場の設置をめぐる数々の話題を呼びました。今年も東京平和委員会の主催する「新島海のまつり」が開かれ、練習場の反対デモが行われました。しかし村民の参加も少なく盛り上がり欠けていました。サーフィンに青春をぶつける若者たち。真っ黒に日焼けした肌が波の上で自慢のサーフィンを繰りひろげます。島の夏はこうして過ぎていきます。